



3月25日、伊達市内で日本共産党伊達市委員会主催の「TPP」でどうなる?私たちの暮らしと経済」と題してシンボジウムを開催しました。市民、農協関係、砂糖工場関係者を

はじめ近隣の市町から百十名が熱心にパネリストの話を聞き、質問・交流しました。

た。

パネリストは北大大学院農学研究院教授・飯澤理一郎氏と日本共産党中央農林漁民局次長・有坂哲夫氏。コードイネットーは畠山和也党道政策委員長が務めました。吉野英雄党伊達市委員長が主催のあいさつ。

飯澤氏は「TPPに参加することとは全国民の生活にかかわる重大問題。まさに農業だけでなく年金、医療などアメリカの要求を丸のみするもの」と指摘。有坂氏は事前協議であきらかになつたことに触れ「野田政権は情報を出さず疑問に応えないと交渉をすすめていく」と批判。そして日本医師会が反対の声をあげて「TPP反対の

# 民 主 む ろ ら ん

**農業や医療・保険制度などくらしこわす  
TPP阻止の運動をさらにだてシンポに百十名**

日本共产党室蘭地区委員会

発行責任者  
毛利敏  
室蘭市東町4-7-8  
電話(44)5573

一点での地域ぐるみの運動をすすめ阻止しよう」とよ

問題じやないことがわかった「保険などアメリカ企

参加者から「農家だけのためにも共産党を大きくのばしてほしい」と訴え、まとめました。畠山氏は最後に「TPPがいかに国民にとって有害か、そしてTPP参加阻止する国民運動を草の根からすすめていくこと、そのためにも共産党を大きくのばしてほしい」と訴え、まとめました。

会場では「これならわかるTPPパンフなど91冊が普及されました。参加者から「農家だけのためにも共産党を大きくのばしてほしい」と訴え、まとめました。畠山氏は最後に「TPPがいかに国民にとって有害か、そしてTPP参加阻止する国民運動を草の根からすすめていくこと、そのためにも共産党を大きくのばしてほしい」と訴え、まとめました。

かけました。畠山氏は最後に「TPPがいかに国民にとって有害か、そしてTPP参加阻止する国民運動を草の根からすすめていくこと、そのためにも共産党を大きくのばしてほしい」と訴え、まとめました。畠山氏は最後に「TPPがいかに国民にとって有害か、そしてTPP参加阻止する国民運動を草の根からすすめていくこと、そのためにも共産党を大きくのばしてほしい」と訴え、まとめました。

意見書案については、泊原発1・2号機の再稼働に

めませんでした。

## 第一回定例市議会閉会 一般会計・3特別会計予算に反対

第一回

市議会定

度各会計

予算など

議案36件を原案通り可決

し、閉会しました。

党市議団は、総額423億2千2百万円の一般会計予算と国保、介護、後期高齢者医療などの3特別会計予算に対し、「市民の厳しい生活に配慮した予算とは言えない」として反対しました。

議案36件を原案通り可決

し、閉会しました。

がけまる記  
さない

主催したのは、脚本家の倉本聰さん、作家の雨宮凜さん、小野有五北大名誉教授などが呼びかけ人の「さよなら原発1000万人アクション北海道」実行委員会。会場の岩内地方文化センターと街頭デモには



日本共産党参議院議員 大門 みきし

## 「法人税、みんなで上げれば、こわくない」

三月二十六日

先月、大学時代の友人で情報関連会社の社長をしていたG君と十年ぶりに会いました。

『『海外に逃げる』と反論する。たしかに中国などアジア諸国では税金を安くして外国企業を呼び込もうとしてきたが、いつも

G君「企業経営者として税の引下げは歓迎だが、日本国民の一人としてはそう税を引き上げたがって税の引下げ競争はやめようといふ経済連携協定こそ必要だな」

G君と私は、いまから三十数年前、大学へはほとんどいかず、学生演劇に熱中していました。私が思いつきで書いたばかばかしい喜劇の台本を、彼

は一生懸命汗だくになつて演じてくれました。それは減るばかりで国民生活や社会保障にまわす財源がなくなってしまう

私「わが党が税金は大企業、大資産家からとるべきだ」というと、政府はすぐなくすべき

意見欄には、「若年層を定職に就かせることがなぜできないのか」「パワハラなどでは会社を追われた人が多い」「何を望んでも無理など様々な意見が寄せられています。」

つ岩内町で3月24日、「泊原1、2号機の再稼働を許さない北海道集会inいわない」が開かれました。

主催したのは、脚本家の倉本聰さん、作家の雨宮凜さん、小野有五北大名誉教授などが呼びかけ人の「さよなら原発1000万人アクション北海道」実行委員会。会場の岩内地方文

化センターと街頭デモには小野氏は、福島と北海道を重ねた地図を示し、「福島第一原発と福島市の距離は、泊原発と札幌市とほぼ同じ」と話し、「泊原発が活断層地帯であることは、今の科学の常識です」と警告しました。

鉄鋼革新懇は、新日鐵や関連などの労働者を対象に二年ぶりに「生活・職場・要求アンケート」を実施中です。

事務室長の佐々木順一さんは、「大震災・原発事故と大増税が計画されるなか労働者の率直な意見を聞くべき」とアンケートの目的を話します。

質問14項目のうち主な

泊原発が目の前に建つ岩内町で3月24日、「泊原1、2号機の再稼働を許さない北海道集会inいわない」が開かれました。

1500人が参加しました。西胆振からは、高教組室蘭支部や「止めよう!なくそう!原発、西胆振実行委員会」から48名が参加しました。

田俊英氏は、「農業と原発は福島県農民連会長の龜

# 泊1・2号機の再稼働許さない 北海道集会inいわないに1500人

絶対に相りません。福島と北海道で原発ゼロの声を広げよう」と訴えました。研究会代表の紙芝居、蘭越地元の岩内原発問題研究会代表の紙芝居、蘭越中学1年生の発言などがあり、最後に「泊原発1、2号機の再稼働中止を求め

る」集会アピールを採択。参加者は集会後、町の中心部をデモ行進。西胆振からの参加者も横断幕をかげ、「原発を止めよう」「子どもたちを放射能から守ろう」と元気にシユブレビコールを響かせました。

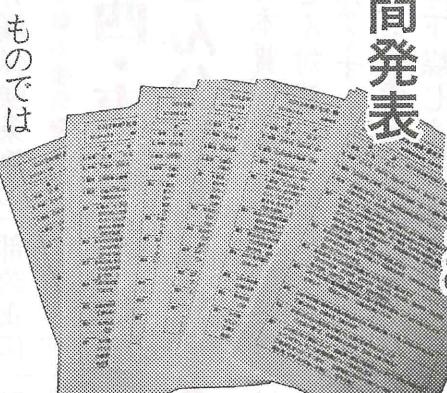
## 春 スポーツ施設4/1オープン

### ○テニスコート

- ・祝津公園コート4面
- ・高砂テニスコート9面
- ・崎守臨界公園コート2面

### ○入江運動公園陸上競技場

### ○入江運動公園温水プール



いよいよ4月! 待ちどおしい春、4月1日からオープンするスポーツ施設をお知らせします。(各オープン日は、天候などで変更する場合があります)

